

地域活性化に向けた医療・福祉施設等 導入の可能性に関する研究

住宅・都市研究グループ 研究員 今野 彬徳

I はじめに

我が国では、高度経済成長期以降、郊外での大型商業施設の立地のみならず、病院を初めとした公共公益施設の郊外への移転も増えた。また、高度経済成長期以降に大量供給された住宅団地の中には、すでに建物や設備の老朽化や住民の高齢化が進み、建替えや改修を含めた再生の必要性が高いものも多々ある。

そのような状況の中、都市再生基本方針では、中心市街地や大規模ニュータウンにおいて、人口密度を維持すると共に、医療・福祉サービスを的確に供給し、高齢者人口が増加していく中で、高齢者はもとより、子育て世帯等、誰もが安心して生活できるコンパクトな都市を構築していくことが課題とされている。そこで本研究では、病院の地域への導入が地域再生の糸口になり得るのかどうかという観点から、病院の移転に着目し、それに伴い生じる人口集積効果を明らかにすることにより、地域活性化に向けた地域への病院の導入の是非を明らかにする。

II 研究の概要

(1) 研究対象

2012年までに移転を計画した761件の病院から表1の条件により抽出された調査対象を図1に示す。ここで、移転先地域を4通りに分類している。中心市街地とは中心市街地活性化基本計画等に定められた中心市街地もしくは商業系用途地域をさし、郊外地域とは中心市街地以外の地域をいう。それに加えて、病院の移転前の一定期間の世帯増加数が市内全体と比較した上で、世帯増加地域もしくは世帯減少地域としている。

(2) 研究方法

病院移転前後の世帯数変化に着目し以下の調査を行う。

- ①病院からの距離帯別の世帯数変化
- ②病院の移転先・移転元地域の世帯数変化比較
- ③病院周辺地域の世帯数変化の偏差値に基づく評価
- ④病院の人口集積効果に関するヒアリング調査

すべての調査において移転前後の世帯増加数[世帯/年・km²]を求める。世帯数のデータは国勢調査の500mメッシュデータ

を使用しており、移転前後の期間はそれぞれ5年もしくは10年としている。

III 研究結果

(1) 病院からの距離帯別の世帯数変化

調査結果を表2に示す。移転前の期間において相対的に世帯数が減少している世帯減少地域に病院が移転した場合、病院から半径500m以内の地区では移転前に減少傾向であった世帯数が移転後に増加傾向に転じている。また、病院から500m以上離れた地域の世帯数変化は地域によって様々であったが、病院から500m以内の地域が最も世帯数の増加傾向が強いことが明らかになった。また、移転前の期間において相対的に世帯数が増加している地域に移転した例では、移転後に世帯数の増加傾向が強まった例があることや、増加傾向が鈍化したのみであり、減少に転じた例はないことが分かった。以上のことより、病院の新規立地が病院から距離の近い地域の世帯数に影響を与えた様子が推測される。

(2) 病院の移転先・移転元地域の世帯数変化比較

病院を中心とした半径500mのエリアに着目して、移転先地域と移転元地域の世帯増加数の変化を比較した。移転先地域は

表1 研究対象の選定

移転した 病院	中心から 郊外へ 移転	白地地域 を除く	病床数	527
			100床以上	12
	郊外から 中心へ 移転	白地地域 を除く	病床数	12
			100床以上	10
			2000~2009年に移転	4
				95
				33
				28
			2000~2009年に移転	6

中心市街地	
②世帯減少中心地域 (II) 八尾市立病院 (III) 済生会和歌山病院 (IV) 浜田医療センター	①世帯増加中心地域 (I) 戸畑けんわ病院
世帯減少地域	世帯増加地域
④世帯減少郊外地域 (IX) 苫小牧市立総合病院 (X) 草加市立病院	③世帯増加郊外地域 (V) 千歳市民病院 (VI) 榑原記念病院 (VII) 彦根市立病院 (VIII) 新宮市立医療センター
郊外地域	

図1 研究対象

表2 病院からの距離帯別の世帯数変化

病院名	移転地域	平均/前	平均/後	Aエリア (~500m)					Bエリア (500~1000m)				
				移転前	移転後	前後	全体	評価	移転前	移転後	前後	全体	評価
(I)戸畑けんわ病院	増加中心	11.9	-1.3	95.8	54.9	-	+	鈍化	12.2	-7.7	-	-	減少
(II)八尾市立病院	減少中心	22.5	14.0	1.6	165.5	+	+	増加	9.3	25.8	+	+	増加
(III)済生会和歌山病院	減少中心	4.5	2.8	-13.2	8.7	+	+	増加	-23.4	2.6	+	-	緩和
(IV)浜田医療センター	減少中心	0.1	-0.1	-1.4	11.2	+	+	増加	7.9	-5.4	-	-	減少
(V)千歳市民病院	増加郊外	1.2	0.8	36.7	15.7	-	+	鈍化	32.7	34.0	+	+	増加
(VI)榊原記念病院	増加郊外	57.0	52.4	120.3	220.3	+	+	増加	28.0	65.9	+	+	増加
(VII)彦根市立病院	増加郊外	4.1	2.5	32.6	12.2	-	+	鈍化	22.2	8.9	-	+	鈍化
(VIII)新宮市医療センター	増加郊外	0.1	-0.3	18.1	16.2	-	+	鈍化	6.2	8.6	+	+	増加
(IX)苫小牧市立総合病院	減少郊外	2.9	-0.7	-8.7	18.7	+	+	増加	-2.6	9.0	+	+	増加
(X)草加市立病院	減少郊外	43.0	45.8	12.5	71.9	+	+	増加	66.1	43.8	-	-	減少

Cエリア (1000~1500m)								
病院名	移転地域	平均/前	平均/後	移転前	移転後	前後	全体	評価
(I)戸畑けんわ病院	増加中心	11.9	-1.3	8.9	-6.1	-	-	減少
(II)八尾市立病院	減少中心	22.5	14.0	34.0	14.3	-	+	鈍化
(III)済生会和歌山病院	減少中心	4.5	2.8	-18.5	-5.5	+	-	緩和
(IV)浜田医療センター	減少中心	0.1	-0.1	-0.4	-0.7	-	-	減少
(V)千歳市民病院	増加郊外	1.2	0.8	6.2	21.6	+	+	増加
(VI)榊原記念病院	増加郊外	57.0	52.4	57.8	44.3	-	-	減少
(VII)彦根市立病院	増加郊外	4.1	2.5	25.3	10.4	-	+	鈍化
(VIII)新宮市医療センター	増加郊外	0.1	-0.3	6.0	-1.0	-	-	減少
(IX)苫小牧市立総合病院	減少郊外	2.9	-0.7	0.0	7.4	+	+	増加
(X)草加市立病院	減少郊外	43.0	45.8	38.9	43.9	+	-	緩和

※表2に関して
市内全体の平均と病院周辺エリアの世帯増加数[世帯/年・km²]を移転前後に分けて記載。評価については図2を参照。

表2に示す通り、増加もしくは鈍化という評価になっており、すなわち、移転後の世帯増加数は市内全体よりも大きい値をとっている。それと比較して移転元では、減少と評価された地域が6つあり、移転先との違いが明白であった。

(3) 病院周辺地域の世帯数変化の偏差値に基づく評価

病院周辺 500m の地域の世帯増加数の市内における相対的な位置を得るためにこの調査を行う。市内にかかるすべての500mメッシュデータをサンプルとし、病院周辺 500m の地域の世帯増加数の偏差値を求めた。その結果、世帯増加数という「絶対数」でみると移転後に移転前よりも世帯数の増加が少なかったが、偏差値で市内における相対的な評価をすると、世帯数の増加傾向が移転後に強まった事例が2つあった。

(4) 病院の人口集積効果に関するヒアリング調査

4つの事例を対象として、市役所の担当課の方にヒアリング調査を行った。ヒアリング内容は病院の移転に伴い生じたハード面の変容とソフト面の変容である。ヒアリング結果から、病院の立地が人口集積に影響を与える理由として次に記す直接的理由と間接的理由が考えられた。

①直接的理由

- ・病院の近隣に居住することにより病院利用の際の利便性が向上するため。
- ・病院の周辺地域に緊急時に病院が近くにあるという安心感や、防犯面での安心感、清潔感等が生じるため。

②間接的理由

- ・道路や歩道の整備が行われたことにより、住環境が向上するため。

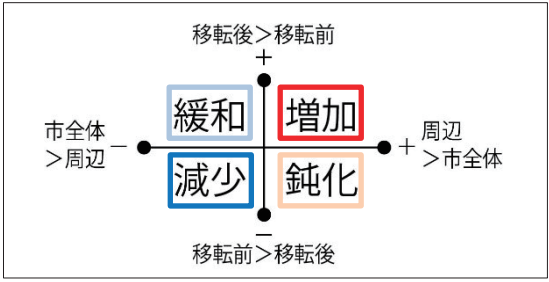


図2 世帯数変化の評価

- ・バス路線の新設や増便等により交通網が充実し、病院周辺地域の交通利便性が向上するため。
- ・病院の利用者により地域に賑わいが生じるため。
- ・病院の地域への導入が住民活動の機運を高め、地域に活気生まれるため。

IV まとめ

本調査で明らかになった事項を踏まえると、病院の移転を契機に各種団体がその地域の整備や新たな活動を行うことにより病院立地が地域の活性化に繋がると考えられる。したがって、市立病院など影響力のあると思われる施設が移転する際には、市役所の都市計画部、建設部、医療福祉部や地元の商工会、自治会等が密に連携をとることが重要と考えられる。そのため、関係団体の会議の場を設けることなどが必要となるだろう。しかしながら、人口または世帯数の増加と病院立地との因果関係はヒアリング調査を通して考察したのみであり、その結果が定かであるとは言い難い。そこで、今後さらに居住者の意見に関するアンケート調査等の追加調査を行い病院立地と人口増加の因果関係について明らかにしていく必要がある。